

## 移住労働者との 連帯フォーラム

18・19日、中京大で

東海地方で外国人支援に取り組む個人や団体でつくる実行委員会が十八、十九の両日、「移住労働者と連帯する全国フォーラム・東海2011」を昭和区の中京大学名古屋キャンパスで開く。

外国人研修生の権利向上を目指す大脇雅子弁護士、名古屋労災職業病研究会の杉浦裕医師、ベトナム出身のブイ・チ・トルン愛知淑徳大教授らが共同代表を務める実行委が企画運営する。

十八日は「リーマンショック後の東海地域から多文化共生の道を考える」と題したシンポジウムほか、「難民」「医療」「日系人」など十六の分科会を開催。十九日は、一橋大の田中宏名誉教授の講演会「国・自治体・市民が今やれること」と全体集会がある。

参加費は当日一般二千円、学生千円。高校生以下無料。問い合わせは実行委事務局＝電話(837)7420＝。